令和8年度　全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市全体～中学校・義務教育学校後期課程）

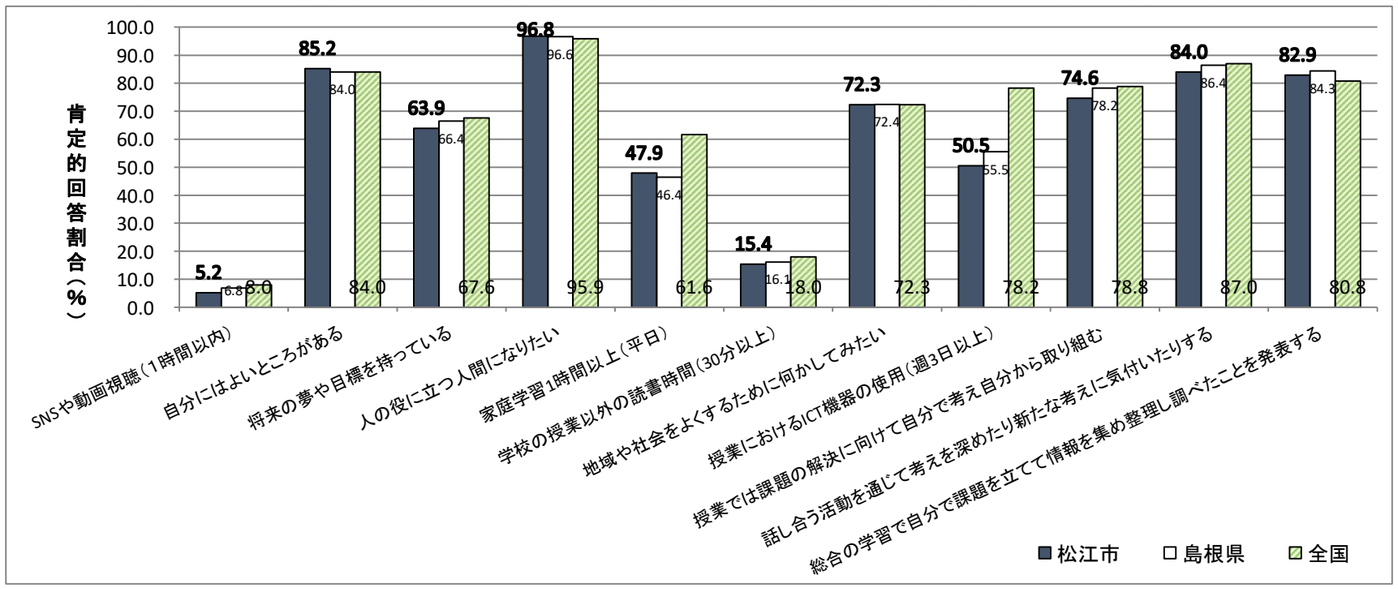
（1）学力調査結果から見られた傾向

		分析(成果○、課題●)	改善策(・)
国語	成果	○助動詞のはたらきを理解し助詞と助動詞を区別すること。 ○情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	・文脈に即して正しく漢字を書き、語句について文脈における意味を具体的かつ個別的に捉える習慣をつける。 ・書くことについて、読み手を意識し、自身の目的や意図に応じて表現を考えたり効果的な展開を工夫したりする。 ・書いた文章について「共有」する活動を確保し、読み手からの感想や助言を基に自分の文章を振り返り、次の書く活動にどのように生かすかを考えるようにする。
	課題	●文章の中で適切な漢字を使い、語句の意味を適切な意味で捉えること。 ●書くことについて、目的や意図に応じて効果を考えながら展開を工夫すること。 ●書くことについて、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと。	
数学	成果	○「数と式」において、同類項の意味を理解し、ある項の同類項を選ぶこと。	・累積度数を求める手順を確認するだけではなく、求めた累積度数がどういう意味を持っているかを確認したり、特定の階級までのデータの総数が把握できる良さが実感できる指導を行ったりしていく。 ・2桁の数、3桁の数を文字式で表す方法を定着させるとともに、具体例で試して規則性を予想し、文字を用いて構造を説明し、結果の意味を言語化する指導を行っていく。
	課題	●「データの活用」において、度数分布表から、ある階級の累積度数を求めること。 ●数の性質を文字式を使って考える際に、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	
英語	成果	○目的に応じて、必要な情報を聞き取ること。 ○音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して読むこと。	・書き手が最も伝えたいことだと判断した根拠を話し合う活動を設定する。 ・書く前に、関連する内容をキーワードでメモとして整理し、ペアやグループで参照しあいながら、メモを再構成する活動を行う。 ・聞いて得た知識や情報のメモを基に、内容を口頭で要約して伝えたり、自分が一番印象に残った内容や興味をもった情報を伝えたりする活動を行う。
	課題	●短い文章を読み、要点を捉えること。 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。 ●社会的な話題に関して聞いたことについて、自分の考えとその理由を話すこと。	

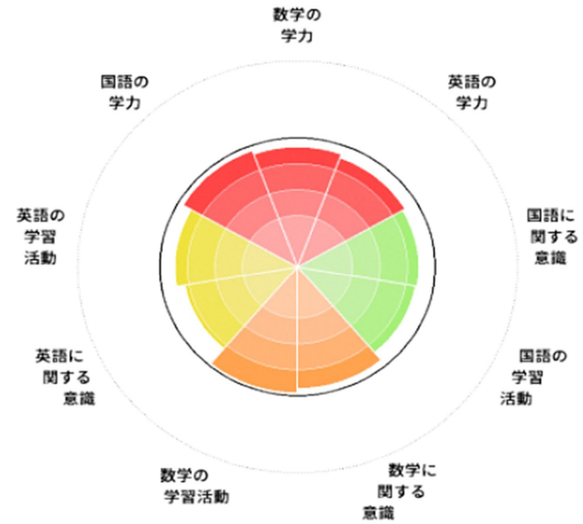
（2）質問紙調査から見られた傾向

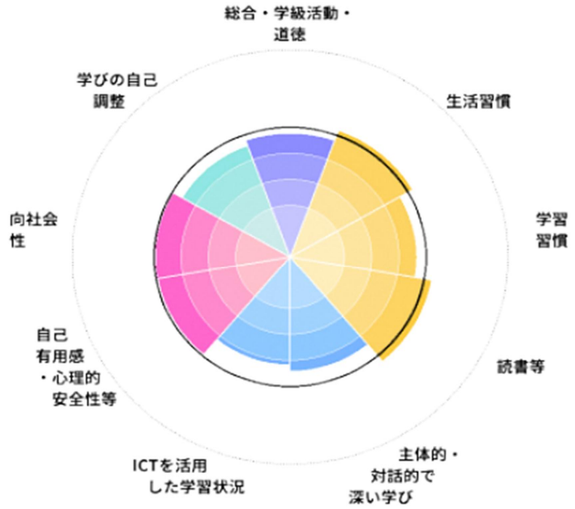
		分析(成果○、課題●)	改善策(・)
質問紙	成果	○朝食、就寝、起床時刻など生活リズムとして定着している生徒が多い。 ○自分にはよいところがある、人の役に立つ人間になりたい、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う生徒が多い。 ○自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる生徒が多い。	・SNS視聴・学習時間への取り組みとして家庭・学校・地域・行政が連携し、システムによる適切な利用サポート、家庭でのルール作り、代替手段の提供など多角的なアプローチを行っていく。 ・授業展開の工夫として生徒が主体的に学習に取り組むための方策を講じ、情報収集・整理や文章作成・プレゼンテーション等にICT機器を効果的に活用していく。
	課題	●月～金のSNSや動画視聴が1時間以内の生徒が1割以下であり、全国に比しても低い。 ●家庭学習１時間以上（平日）の割合が昨年度より下がり、全国平均との差も広がっている。 ●課題の解決に向けて自ら考え取り組むことや、考えをまとめ工夫して発表することが苦手。 ●学習時のICT機器の使用頻度が全国平均よりも低い。	

（4）質問紙調査の結果より（学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています。）



（3）学力・学習状況調査結果チャート（実線は全国平均）





【参考】[国語・算数・理科]平均正答率（%）

	松江市	島根県	全国（公立）
国語	62	62	63.9
数学	53	53	57.0
英語＊	469	473	499

【受検者数】　1,360　名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

＊[英語]IRTスコア
→IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点を表すもの。